



2019
1月

月次 39レター

毎月発行するお客さまへのお知らせレターです

第173号①【基準日 2018年12月28日】



🌸 社長メッセージ



新年あけましておめでとうございます

ありがとう投信株式会社
代表取締役社長 長谷 俊介



皆さま、新年あけましておめでとうございます。旧年中は格別なご高配を賜り、誠に有難く厚く御礼申し上げます。本年もお客様の資産運用のお役に立てるように、役職員一同、精進して参りますので、今後とも変わらぬご支援を賜りますようお願い申し上げます。

適温相場から変温相場へ

さて、昨年末からマーケットは乱高下してボラティリティ(価格変動)の大きな相場展開になっています。米中貿易摩擦悪化が実体経済に悪影響を与える懸念や米国経済の景気後退懸念、利上げの見通しなどにより、マーケットはジェットコースターのように上下しています。先月1ヶ月で世界の株式市場は1割程度調整しました。新年に入ってから為替が円高に大きく振れたり、アップルが中国国内でのiPhoneの販売不振により業績見通しを下方修正したことによる悪材料で急落したかと思えば、米国の雇用統計が市場予想を上回ったこと、FRBのパウエル議長が利上げを一時停止する可能性を示唆したことにより急反発するなど荒い値動きが継続しています。

リーマンショックから10年経って米国経済の景気拡大も続いている中、景気後退はいつ頃来るか、景気のピークアウトはいつかが注目されている中、何か材料が出るたびに株価が大きく変動しています。一昨年の株価の変動が小さく右肩上がりて上昇した適温相場から株価の変動が大きい変温相場になってきました。

今年も米国経済や利上げの動向、米中貿易摩擦の行方だけでなく、欧州での英国EU離脱問題、日本の参議院選挙や消費税引き上げなど目が離せないイベントが多数あり、マーケットに影響を与える要因であると考えられます。

世界経済と企業利益の成長を享受

ここ1、2年前から資産運用をはじめられた方は昨年の株式市場の調整に不安になっている方もいらっしゃると思います。株式市場は企業の業績や本質的価値以外の需給要因などによっても上がったり、下がったりします。個別企業の業績が良くても、下げ相場であれば株価は下落し、業績があまり良くなくても市場全体が好調であれば、株価は上昇します。特に最近ではETFやインデックスファンドの台頭、高速取引やアルゴリズム取引により相場全体の動向に影響されるようになってきており、価格変動が大きくなる一因になっていると考えられます。指数に連動するように運用するETFやインデックスファンドなどのパッシブ運用の規模が大きくなると個別企業の業績に関係なく一律で買われたり、売られたりするるので本質的価値と株価の乖離やゆがみが大きくなる弊害が出てきているのが現状です。

ありがとう投信株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第304号 一般社団法人投資信託協会会員

このレポートはありがとうファンドの運用状況等を開示するための情報提供を目的として、ありがとう投信株式会社が作成したレポートです。信頼性が高いと判断した情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。投資信託の取得を希望される方は、必ず目論見書の内容をご確認の上、ご自身の判断でお申し込みください。

しかしながら、長期で見れば株価は企業業績や1株当たり利益と相関があると考えられており、そこに収れんされていきます。業績が悪く赤字が続いて企業価値が減少している企業の株価は中長期で見て右肩下がり傾向になっていますし、業績が良くて増収増益、増配を毎期継続している企業の株価は長期で見て右肩上がりのトレンドになっています。また、経済成長をしている国・地域の株式市場は長期で見れば右肩上がりのトレンドになる一方で、経済成長していない国・地域では、ボックス圏で横ばいのトレンドになる傾向が見られます。

実体経済の悪化や景気後退が懸念されていますが、中長期で見れば、世界経済は人口増加をドライバーに年率3～4%程度で今後も成長していくことが予想されていますので、足元の上昇、下落に惑わされずに長期的に世界経済と企業利益の成長を享受できるようにグローバルにクオリティの高い企業を厳選して国際分散投資を継続していくことが大切になってくると考えます。



時間分散が大切

国際分散投資をしていく上でもう一つ大切なことは時間分散という考え方です。タイミングを見計らって一度に買ったり、売ったりすることは当たれば大きな利益になりますが、外れればその反対になります。

長期的に国際分散投資で資産運用していくことによって世界経済と企業利益の成長の果実を享受することが目標であるならば、不要なタイミングリスクはできるだけ小さくするために時間分散することが肝心です。

買付時は定期積立投資をすることで時間分散をしてタイミングリスクを平準化することができます。また、売却時は定期換金サービスを利用することで時間分散をしてリスクを抑えながら資金を引き出し、資産運用を継続することができます。これらを組み合わせることによって、時間分散でリスクを抑えながら、世界経済と企業利益の成長を享受することを目指していくことができます。

継続は力なり

資産運用をしていく上で、現在のような相場変動は避けて通ることはできませんが、大切なことは短期的な価格変動に一喜一憂することなく目標・目的に向かって資産運用を継続していくことです。上がったらもっと上がると思って買い、下がったらもっと下がるのではないかと怖くなって売ってしまい資産運用を途中で止めてしまえば資産形成をしていくことは難しいでしょう。

資産運用の王道は、短期売買ではなく長期投資です。タイミングを見計らった短期売買で継続して利益を出すことはプロでも容易ではありません。時間分散をしながら日本だけでなく世界の価値ある資産を厳選して国際分散投資を継続することで、リスクを抑えながら長期的に資産形成していくことができます。

「継続は力なり」。このことは、仕事や勉強、スポーツだけでなく資産運用においても例外ではありません。資産運用もコツコツと継続していくことが成果を出すための近道になります。マーケットの変動が大きくて不安になる現在の様な相場環境でこそ資産運用の目標・目的を再確認して、投資を継続していくことが大切になってくるでしょう。

今年も創立15周年

弊社は、今年創立15周年を3月に迎え、8月にはありがとうファンドの第15期決算を迎えます。資産運用の世界では15年はまだまだ長期ではありませんが、投信の平均保有期間が約2～3年の日本において、税理士・公認会計士が立ち上げた金融ベンチャー企業として出資形態が変わることなく黒字経営を維持して15周年を迎えることができるのは大変有難いことでもあります。

また、昨年は弊社が運用する「ありがとうファンド」が国際分散投資ファンドとして「R&Iファンド大賞2018」の3部門で優秀ファンド賞を初受賞することができました。これもすべてお客様をはじめ、株主、役職員、取引先、投資先の皆様のご支援、ご協力の賜物であると感謝しております。

弊社は引き続き独立系の資産運用会社としての強みを活かして、親会社や系列グループの意向に縛られることなく、本当に良い投資先を厳選して様々な国・地域の価値ある資産に国際分散投資することによって、リスクを抑えながら長期で安定した運用パフォーマンスの提供を目指して参ります。

また、ファンド運用と販売を自社で行う直販を一步先へ進めて、お客様サービスとしてのアドバイスやコンサルティング、サポートを強化していき、FPサービスや提携先の専門家を紹介する39コンシェルジュサービスをワンストップでお客様に提供していきたいと考えております。

これからもお客様の資産運用を一生サポートしていけるように、お客様に必要とされる存在を目指して、役職員一同精進して参りますので、今後ともありがとう投信を何卒よろしくお願い申し上げます。



積立投資のススメ!

長期投資には、コツコツと分散しながら長期に渡って購入する「定期積立サービス」がおすすめです♪

「定期積立サービス」とは…毎月決まった日にお客様が決めた金額を、自動で購入してお客様の資産をコツコツ積み立てていくやり方です。引落とし手数料も無料♪お忙しい方にもおすすめの投資方法です。



①『無理なく続けられる』

お手元にまとまった資金がなくても、毎月少しずつ積み立てることで大きな資産へとつながっていきます。貯金感覚で続けていきながら、複利効果でリターンチャンスとなります。

②『リスクを分散』

定額での購入で基準価額が高い時に少なく、安い時に多く投資することができます(ドル・コスト平均法)。相場がいい時もよい時も投資を続けることで、平均買付単価を低く抑える方法です。



③『時間分散』

タイミングを分けることで、リスクを分散することができます。時間を味方につけることで、長期でじっくり投資を続けることができます。

期間	平均取得単価	損益
1年	18,516円	-12.86%
3年	16,780円	-3.85%
5年	15,874円	1.64%
初回(2004年10月)から	11,218円	43.83%

右の表は過去の実績として、ありがとうファンドを10,000円ずつ1年、3年、5年、14年と定期で積み立てた場合の実際の平均取得単価と損益となります。続けていくほど利益がでていくのがわかるかと思います。

2018年12月28日現在(基準価額:16,134円)

投資信託をいつ買えばよいか?とのお客様の声が多いですが、投資信託は、タイミングではなく、時間での分散が効果的です。長期で常にタイミングを計ることはとても難しく、かなりの労力を必要とし、それでも確実にいいタイミングで買える保証はありません。

それよりも、ゆっくりと長い時間をかけて、コツコツ投資していくほうがはるかに続けやすく買付単価を平均化されることで、分散の効果が得られます。



タイミングを見計らうのではなく、時間を味方につけていきましょう!

※上記表は毎月同一金額を継続して積立した場合の平均取得単価となります。
 ※積立による購入は将来の収益を保証、基準価額下落時における損失を防止するものではありません。
 ※計算過程で出る端数の処理等、損益比率計算過程において簡略化した計算式を用いています。

セミナーのお知らせ

参加人数に限りがございます。お申し込みは弊社 HP まで♪ (<https://www.39asset.co.jp/html/seminar/index.htm>)

セミナータイトル	開催日	開催地	時間	講師
【ありがとう資産運用アカデミー】 第2回 年代別の資産運用の考え方と実践方法	1月19日 (土)	福岡	13:30～ 15:30	長谷 俊介 (ありがとう投信)
【平日】ありがとう新規口座開設 個別相談会(事前予約制)	1月22日 (火)	東京	18:00～ 19:00	長谷 俊介 (ありがとう投信)
【平日】ありがとう新規口座開設 個別相談会(事前予約制)	1月29日 (火)	東京	18:00～ 19:00	長谷 俊介 (ありがとう投信)
【平日】ありがとう個別相談会(事前予約制)	1月30日 (水)	東京	18:00～ 19:00	長谷 俊介 (ありがとう投信)
投資先セクター分析セミナー (景気敏感セクター編)	2月2日 (土)	東京	10:00～ 12:00	長谷 俊介・真木 喬敏 (ありがとう投信)
【平日】ありがとう新規口座開設 個別相談会(事前予約制)	2月5日 (火)	東京	18:00～ 19:00	長谷 俊介 (ありがとう投信)
【平日】ありがとう個別相談会(事前予約制)	2月6日 (水)	東京	18:00～ 19:00	長谷 俊介 (ありがとう投信)
投資先セクター分析セミナー (景気敏感セクター編)	2月11日 (月)	仙台	13:30～ 15:30	長谷 俊介 (ありがとう投信)
【平日】ありがとう新規口座開設 個別相談会(事前予約制)	2月12日 (火)	東京	18:00～ 19:00	長谷 俊介 (ありがとう投信)
【平日】ありがとう個別相談会(事前予約制)	2月13日 (水)	東京	18:00～ 19:00	長谷 俊介 (ありがとう投信)
投資先セクター分析セミナー (景気敏感セクター編)	2月16日 (土)	札幌	13:30～ 15:30	長谷 俊介 (ありがとう投信)
【平日】ありがとう新規口座開設 個別相談会(事前予約制)	2月20日 (水)	東京	18:00～ 19:00	長谷 俊介 (ありがとう投信)
【平日】ありがとう個別相談会(事前予約制)	2月21日 (木)	東京	18:00～ 19:00	長谷 俊介 (ありがとう投信)
投資先セクター分析セミナー (景気敏感セクター編)	2月23日 (土)	大阪	13:30～ 15:30	長谷 俊介 (ありがとう投信)
投資先セクター分析セミナー (景気敏感セクター編)	2月24日 (日)	名古屋	9:30～ 11:30	長谷 俊介 (ありがとう投信)
【平日】ありがとう新規口座開設 個別相談会(事前予約制)	2月27日 (水)	東京	18:00～ 19:00	長谷 俊介 (ありがとう投信)
【平日】ありがとう個別相談会(事前予約制)	2月28日 (木)	東京	18:00～ 19:00	長谷 俊介 (ありがとう投信)
投資先セクター分析セミナー (景気敏感セクター編)	3月2日 (土)	福岡	13:30～ 15:30	長谷 俊介 (ありがとう投信)

ありがとう投信株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第304号 一般社団法人投資信託協会会員

このレポートはありがとうファンドの運用状況等を開示するための情報提供を目的として、ありがとう投信株式会社が作成したレポートです。信頼性が高いと判断した情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。投資信託の取得を希望される方は、必ず目論見書の内容をご確認の上、ご自身の判断でお申し込みください。

【ありがとう投信からのお知らせ】

🌸 特定口座年間取引報告書交付のお知らせ

2018 年末現在、特定口座を開設されていて昨年中に『ありがとうファンド』を換金されているお客さまには「平成 30 年分特定口座年間取引報告書」を郵送および電子交付させていただきました。

「特定口座年間取引報告書」は、昨年中に特定口座内で換金された『ありがとうファンド』の譲渡の対価の額(収入額)、取得費および譲渡に要した費用の額などを記載しており、該当する年間の譲渡損益等を集計した報告書です。
確定申告の際には、郵送された本書類を証明書類としてご利用いただけます。

尚、電子交付サービスに同意されていて、源泉徴収ありをご選択いただいているお客さまの場合は、基本的に確定申告が不要となるため、「特定口座年間取引報告書」はマイページ上での確認となり、郵送されません。

他の金融機関での取引との損益通算や損失の繰越控除のために、源泉徴収ありをご選択でも確定申告をされるお客さまには別途郵送させていただきますので、弊社までご連絡いただきますようお願い申し上げます。

☆特定口座年間取引報告書の交付方法一覧

特定口座の区分	電子交付の同意	交付方法
源泉徴収あり	あり	電子交付※ (マイページ上での確認)
	なし	郵送
源泉徴収なし	あり	郵送
	なし	

※確定申告されるお客さまには別途郵送させていただきますので弊社までご連絡ください。



2019年 毎月定期購入サービスのスケジュール

今後のスケジュールになります。各締切日に間に合わない場合、翌月の取扱いとなりますのでご了承ください。

	【新規で定期購入を申込】 【引き落とし口座変更】	【定期の引落し金額を変更】 【定期引落しを中止】	【引落日】	【約定日】 (ファンドの購入日)
1月分	受付終了	受付終了	1月7日(月)	1月18日(金)
2月分	受付終了	1月25日(金)	2月6日(水)	2月19日(火)
3月分	2月5日(火)	2月22日(金)	3月6日(水)	3月18日(月)
4月分	3月5日(火)	3月27日(水)	4月8日(月)	4月18日(木)

ありがとうファンド売買申込不可日のお知らせ

下記の売買申込不可日にお申込みされた場合、自動的に翌営業日以降の受付となりますのでご注意ください。

1月	21日(月)	キング牧師誕生日	ニューヨーク証券取引所休業日
2月	18日(月)	ワシントン誕生日	ニューヨーク証券取引所休業日
3月	-	-	-



ありがとうファンドのリスク及び手数料等について

リスク	当ファンドは、ファンドオブファンズであり、国内外の投資信託証券などの値動きのある証券に投資します。また、外貨建て投資信託証券に投資する場合には為替の変動もあります。なお、投資信託証券の組入証券の発行会社の倒産や財務状況の悪化等の影響により、価額が下落し、損失を被ることがあります。したがって、ご投資家の皆様の投資元本は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元本が割り込むことがあります。ファンドに投資することに伴うリスクはお客様のご負担となりますし、ファンドへの投資による損益も全てお客様に帰属します。また元本及び利息の保証はなく、預金保険の対象でもありません。
手数料	申込手数料・換金手数料・信託財産留保金はありません。
信託報酬	ファンド純資産総額に年0.972%(税抜0.9%)の率を乗じて得た額とします。 [実質的信託報酬 信託財産の純資産総額に対し年1.60%±0.2%(概算)] ※当ファンドは他のファンドを投資対象としており、投資対象ファンドにおける所定の信託報酬を含めてお客様が実質的に負担する信託報酬を算出しております。
その他費用	当ファンドに組み入れるファンドを売買する際に発生する売買委託手数料およびこれにかかる消費税相当額などの実費が投資信託財産より控除されます。 ※実費の額は、今後組み入れファンドの追加や変更があった場合、変動してくるものであるため事前に料率、上限額等を表示することができません。

※リスク・費用等の詳細につきましては、投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。目論見書のご請求は、ありがとう投信株式会社 カスタマーサービス部まで。【〒101-0047 東京都千代田区神田 2-15-9 フリーコール 0800-888-3900】

【レポートで使用している指数の注記】騰落率は、FACTSETよりデータを参照し、弊社にて計算しております。

TOPIXに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は東京証券取引所に帰属します。S&P500種指数(S&P500)に関する著作権、知的財産権、その他一切の権利はS&P Dow Jones Indices LLCに帰属します。MSCI Indexに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、MSCI に帰属します。

■R&I ファンド大賞について

R&I「ファンド大賞」は、R&Iが信頼し得ると判断した過去のデータに基づく参考情報(ただし、その正確性及び完全性につきR&Iが保証するものではありません)の提供を目的としており、特定商品の購入、売却、保有を推奨、又は将来のパフォーマンスを保証するものではありません。当大賞は、信用格付業ではなく、金融商品取引業等に関する内閣府令第299条第1項第28号に規定されるその他業務(信用格付業以外の業務であり、かつ、関連業務以外の業務)です。当該業務に関しては、信用格付行為に不当な影響を及ぼさないための措置が法令上要請されています。当大賞に関する著作権等の知的財産権その他一切の権利はR&Iに帰属しており、無断複製・転載等を禁じます。

ありがとう投信株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第304号 一般社団法人投資信託協会会員

このレポートはありがとうファンドの運用状況等を開示するための情報提供を目的として、ありがとう投信株式会社が作成したレポートです。信頼性が高いと判断した情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。投資信託の取得を希望される方は、必ず目論見書の内容をご確認の上、ご自身の判断でお申し込みください。